

かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ 所在地：南巨摩郡富士川町鞆沢771-2

TEL：0556-22-8154 FAX：0556-22-8144

HPでカラー版が御覧になれます。URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

峡南地域教育推進連絡協議会（地推協）新会長挨拶

去る7月11日に開催されました峡南地域教育推進連絡協議会の総会において、会長に選任されました。4名の副会長さんをはじめ、役員の皆様方や関係機関の皆様の御協力を頂きながら、峡南地域の教育推進のため微力ながら努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

この協議会は少子化、核家族化、人々のつながりや共同体意識の希薄化などにより、家庭や地域の教育力が低下しているという認識の中で、子どもの健やかな成長のために家族、学校、地域がそれぞれの役割と責任を果たしていくには、どのように連携協力していけばいいのかという命題克服のために、平成17年に設立されました。地域教育フォーラム、異校種間連携セミナー、子育て学習会、情報誌「かけはし」の発行などを行ってきました。地域の指導者の意識を高め、子育て世代への学習の場の提供、異校種間の情報の共有化などに効果が見られています。

設立から10年の節目の今年度は、青少年が夢や希望を抱き、自分を大切に愛せるような「自尊の気持ち」を育てられるように取り組んでいきたいと考えています。

結びに本会の益々の充実のために関係者各位の御指導、御協力をお願いし、御挨拶といたします。



中込 文江 新会長

ENGLISH CAMP in MINOBU & NANBU!

7月22日（火）23日（水）に身延町教育委員会：教育研修センターが企画し、6年生を対象としたイングリッシュキャンプが行われました。1週間後の7月29日（火）には、南部町教育委員会：教育支援センターが企画し、5、6年生を対象にしたイングリッシュキャンプが行われました。両町とも会場は、「なかとみ青少年自然の里」でした。



町内外のALTや教員OBの協力のもと、両町の児童が楽しいひとときを過ごすことができました。児童の感想では「最初は緊張したけれど、みんなでゲームをしているうちにとても楽しくなった。」「得意ではなかったけれど好きになりました。」「英語の勉強をがんばろうと思うようになりました。」「他校の生徒と交流できて良かった。」等々、「英語に親しみ、コミュニケーションの素地を養う」という当初の目的を果たせたキャンプになりました。なお、8月22日（金）23日（土）には、身延町の中学生を対象としたイングリッシュキャンプが開かれる予定です。

8月26日（火）には、峡南地域教育フォーラムが身延町総合文化会館で行われます。身延町教育研修センター主催の千須和繁臣先生による発表の中に、その時の様子が含まれています。興味のある方は是非お越しください。



かけはし130号の紙面

- p1 峡南地域教育推進連絡協議会新会長挨拶・ENGLISH CAMP
- p2 連載特集『峡南地域の食材』No.3
- p3 おもちゃ図書館・たのしい教室・親の背中出前講座
- p4 保小連携・学園祭・新校舎完成・インターンシップ・地域貢献清掃活動

☆☆連載特集『峡南地域の食材』No. 3

富士川町「道の駅富士川」と「食改さん」



1 富士川町の自然環境

釜無川と笛吹川は、富士川町で合流し、日本三大急流の一つ富士川となります。南アルプス市との町境では、日本でも珍しい複数河川立体交差で河川の氾濫を治めています。江戸時代から富士川舟運を中心とした人・モノの行き来の拠点として栄え、現代でも静岡・山梨・長野を結ぶ交通の要衝となっています。2010年（平成22年）3月8日、増穂町と鵜沢町が合併して誕生した山梨県で一番新しい町です。日本さくらの名所100選に選ばれている「大法師公園」、高下地区では、冬至から元旦にかけて富士山頂からの日の出「ダイヤモンド富士」が拝めるなど多くの観光客が訪れています。

2 富士川町食生活改善推進委員会「食改さん」による活動

富士川町食生活改善推進委員会は、富士川町制施行と同時に2010年5月27日に増穂町と鵜沢町の食改を合併し発足しました。現在会員数は11支部で合計100名です。受託事業として「生涯骨太クッキング」・「男性のための料理教室」・「おやこの食育教室」・「ヘルスメイトが『TUNAGU』（繋ぐ）パートナーシップ事業」・「町祭り協力」、自主活動として、「ペープサート講演『かむかむ』（紙芝居で子どもに食育の大切さを教える）等を行っています。特徴ある取り組みとして、平成24年度から6月～8月にかけて食改さんが近所を訪問し、みそ汁塩分濃度をチェック。測定結果をまとめ協力家庭や食育教室で結果を公表し、減塩の大切さの啓発や地域の健康づくりに貢献しています。



平成26年度富士川町食生活改善推進委員会
 前列 副会長 川手素子 様 (右→)
 会長 望月仁美 様 (中央)
 前副会長 山田和子 様 (←左)
 後列 会計 河野一二三 様 (右→)
 副会長 鶴田正枝 様 (中央)
 書記 望月克子 様 (←左)

3 道の駅富士川

道の駅富士川は、7月8日に竣工式を行い、グランドオープンしました。道の駅富士川は、道路利用者の「休憩機能」、道路利用者や地域の方々に対する「情報発信機能」、町と町とが協力し地域づくりに貢献する「地域連携機能」の3つの機能を持つ「道の駅」本来の機能に加え、水辺プラザ（富士川親水公園）としてのウォーターフロント機能、河川防災ステーション機能と多機能を備えた理想的な道の駅です。店内は、地元の農産物販売コーナー、物品コーナー（地元を代表するお土産）、富士川キッチン（食堂：地元の旬の素材、伝統を生かしたメニュー）があります。是非、お立ち寄りください。



富士川キッチン：地元食材を使用した郷土料理 みみほうとうセット

お土産：地元食材を使用したゆずロールケーキ

HPでカラー版が御覧になれます。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

親子の絆とふれあい！ おもちゃ図書館 開館

富士川町民会館を会場に、毎週水曜日の午前10時から12時までの2時間、1階の和室を開放し、0才児～3才児とお母さん方のふれあいの場を提供しています。「公園デビュー」ならぬ「おもちゃ図書館デビュー」といったところでしょうか。赤ちゃん同士はもちろんのこと、親御さん同士や5名のボランティアの方々との送受信の場ともなっています。今日7月30日(水)は、「おもちゃ図書館で0才児～3才児の遊び相手になろう」という社会福祉協議会主催サマワークの一環として、プチボランティア体験を実施しました。8月6日(水)



開館前のおもちゃの準備の様子

8月20日(水)の3回実施しました。

写真は、0才児～3才児とふれあい体験をする児童の様子です。4人の増穂小5、6年の児童が参加しました。体験の児童から、「小さい子が好きで参加しました。いろいろな子と遊べたのでうれしい。将来保育士になるために参考にしたい。」と笑顔で話してくれました。



増穂小児童のボランティア体験の様子

市川三郷町「たのしい教室」紹介（放課後子ども教室）

市川三郷町では、放課後子ども教室の一環として、「たのしい教室」を、年15回の予定で、木曜日の放課後や夏季休業に開催しています。内容は、楽しい歌・花植え・書道・パソコン・茶道・クッキング・工作・英会話・スポーツ・富士川の川下り・県外施設訪問（一日教室）などです。この「たのしい教室」は、町内6地区（大塚・上野・市川・山保・大同・六郷）で、それぞれ行われています。子どもたちに、素晴らしい経験をさせようと、教育委員会関係者をはじめ多くの方々が精力的に活動を進めています。



8月1日(金)、4日(月)、5日(火)の3日間は、全地区の「たのしい教室」参加児童が、富士川の川下りを体験しました。鹿島橋(富士川町)から月見橋(市川三郷町六郷地区)までの間、船頭さんの軽妙な語りを聞きながら、富士川舟運の歴史や葛飾北斎について学びました。また、変わりゆく緑の美しさ、川を渡る心地よい風、洞門と自然とが織りなす見事な景色、出迎えてくれたとんびやかもの群れ、30分ほどの舟の旅を大いに楽しむことができました。参加した児童からは、「ゆっくりと自然の美しさを眺められて楽しかった。」「とんびやかものがすぐ近くで見られてうれしかった。」などの感想が聞かれました。



自分の学級の子ども達に親の思いを是非伝えたい！

増穂中 親の背中出前講座

『PTA会員が自ら企画し、実施する試み。』

親である私達が真剣に考え・生きる姿を子ども達が見て、感じてほしい！
親の背中に生き様が・・・、まさに、生き方そのもの



去る6月28日、土曜日の午後、増穂中学校(保坂文彦校長)において、授業参観の一環として行われました。今年は、自動車部品製造業・流通業・消防士・飲食業・地方公務員・ガス販売/製造業会社員(ものをつなぐ接着剤)・ピアノ教師・診療放射線技師・金融業・印鑑製造業の11業種11名の保護者が我が子のいるクラスで授業を行い、たくさんの学びがありました。増穂中学校PTAには、「親の背中出前講座実行委員会」があり、教頭先生が窓口です。毎年、実行委員が中心になって展開しています。今年は記念すべき100回を迎えました。生徒や保護者の評判も



良く伝統の重みを感じる取り組みでした。「僕たちのために授業をしてくれてありがたい。将来はお父さんのように公務員を目指している。」「同じ仕事を目指すかどうか分からないが、料理上手にはなりたい。」等々、たくさんの生徒の感想が寄せられました。



市川南保育所と市川南小学校の交流活動

7月9日(水)市川南保育所にて、市川南保育所園児と市川南小学校5年児童との交流会が開かれました。この時期に5学年児童が年長園児と交流を行う理由は、翌年4月の入学式において、5学年児童は最高学年6年生として、1年生となった年長園児を迎えることになり、入学生が小学校生活を安心して過ごすことができるようにするためです。交流会では、年長園児が、和太鼓の演奏やリズムダンスの発表を、小学校5年児童が、手話を交えた合唱「世界が一つになるまで」の発表や各人の得意技の披露などを行いました。感激した保育園



の先生方が目頭を熱くし、涙をぬぐう場面が見られました。和やかな雰囲気の中で会は進み、懸命に演技や発表をする姿に何度も大きな拍手がわき起こりました。最後は、外に出て自由遊びで楽しみました。小学生が、園児の気持ちを察しながら優しく手をさしのべる姿、ほほえましく感じました。

今後、運動会や一日体験入学の折などに、5年児童と年長児との交流の場が設けられています。また、2月には、園児を小学校に迎えて、2学年児童と交流する予定です。

身延高校 身高祭(しんこうさい)

7月2日(水)～4日(金)に身延高校(仙洞田一郎校長)の学園祭「身高祭」が開催されました。65回の伝統を誇る今年的身高祭テーマは、「桜華



爛漫」。一昨年、学校は創立90周年。昨年度は総合学科高校としての新入生を迎え、今年度は普通科・理数科として最後の年となる3年生にとってはより思い出に残る身高祭になりました。新たな勢いに乗ったバラエティー豊かな学校の様子が、まさに色鮮やかな桜の花のように映し出された学園祭でした。初日は身延町総合文化会館ホールにて、1年生合唱、2年生創作ダンス、3年生創作劇の発表と審査が行われました。2日目は学校体育館でシンボル旗発表、模擬店、クラス企画、各部発表等。3日目は、体育部門が行われました。1日目の3年生の



創作劇では、高校生のリアルな学校生活をモチーフにした大変巧みな描写と迫真の演技が披露され、保護者共々感動と笑いの渦に巻き込まれました。

山梨県立峡南高等技術専門校 新校舎完成リニューアルオープン

富士川町にある、「県立峡南高等技術専門校」は、校舎を新しく建て、今年8月にリニューアルオープンしました。峡南高等技術専門校は、自動車整備科(2年間)、電気システム科(1年間)、造園科(6ヵ月間)、服飾科(6ヵ月間)で構成されています。8月2日(土)竣工式後、オープニングイベントが開催され、小学生対象「ものづくり教室」、高校生対象

「オープンキャンパス」、「峡南モーターショー」、「模擬店」が行われました。多くの見学者が訪れ大盛況でした。



増穂商業高校「インターンシップ」



「高校生インターンシップ推進事業」は生徒に望ましい勤労観や職業観を育成するために行われています。

増穂商業高校では毎年夏休み初期に4日間、2年生在籍生徒全員にインターンシップを実施しています。実施前の1学期終業式後(7月18日)、インターンシップ結団式の冒頭、若林毅文校長は「皆さんは増穂商業高校を代表しています。4日間を有意義に活動し、進路選択の一助としてほしい。」と激励しました。7月22日～25日、49企業で2年生全員118名がインターンシップを行いました。



峡南高校「地域貢献清掃活動」

峡南高校(矢野博文校長)では、長年にわたり地域との連携を強く結び、地域の環境美化の貢献や地域活性化のための活動を積極的に行い、生徒の「心の教育」を推進してきました。7月14日に学校周辺清掃活動で三沢川を含めた地域清掃を行い、引き続き夏休みの24日には、「本栖湖畔清掃活動」を実施しました。これは33回目を誇る同校恒例の行事で、生徒会役員、環境美化委員、クラブ他、有志の生徒約115名が参加し行われました。昨年の富士山の世界文化遺産登録もあり、ゴミが比較的少なめでしたが参加した生徒は厳しい暑さの中、意欲的に取り組んでいました。

